

ほっと すぺ～す

No.141
2022・7



全国手をつなぐ事業所協議会ニュース

今号では

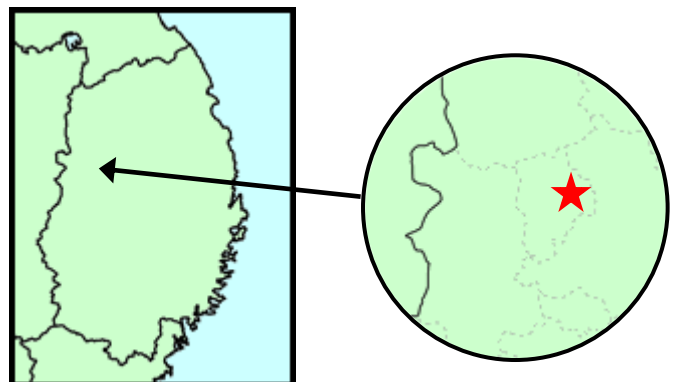
◆全国手をつなぐ事業所協議会が全国連合会の正会員になりました



【多機能型施設ひだまりの家の皆さん】

全国の事業所から


(一社) いわてひだまり農園
多機能型施設 ひだまりの家
《岩手県 滝沢市》





ほっとすぺ～す


No.141 2022年7月発行


今号の目次

- 3  全国手をつなぐ育成会連合会への正式加盟について
～全国手をつなぐ事業所協議会は、また一步前に進みました～
全国手をつなぐ事業所協議会
理事長 松崎 伸一

- 4  連合会への正式加盟にあたってブロック担当理事より

- 6  2021年度（令和3年度）
全国手をつなぐ事業所協議会 事業報告と決算について

- 10  2022年度（令和4年度）全国手をつなぐ事業所協議会
全国研修大会・新潟県大会について

- 12  全国の事業所から
多機能型施設 ひだまりの家（岩手県 滝沢市）

- 16  編集後記



全国事業所協議会より

全国手をつなぐ育成会連合会への正式加盟について

～全国手をつなぐ事業所協議会は、また一步前に進みました～

全国手をつなぐ事業所協議会
理事長 松崎 伸一

例年になく早く梅雨が明け、早夏の到来となりました。テレビニュースでは、熱中症対策が叫ばれない日がありません。新型コロナウイルスについても、また感染者が増えてきているようです。引き続き感染拡大の予防をお願いいたします。またこの時期毎年のように全国で集中豪雨、土砂災害が発生しています。災害対策も怠りなくお願いしたいと思います。



さて、昨年から組織を大きく変えた本事業所協議会ですが、先日6月29日に行われた2022年度（令和4年度）の全育連総会において、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会への正会員としての加盟が実現しましたのでご報告いたします。

協議会が結成されて24年目となりますが、昨年からはじめた大改革の締めであり、大きな朗報となりました。

これからは全国に600弱の会員事業所、都道府県及び政令市より30名の運営委員、及び理事9名監事2名の体制で、全国育成会連合会を支える正会員組織の1つとして、あらためて組織の拡充を図り、共生社会実現に向けて手をつなぐ育成会連合会の一翼を担っていきます。組織の自主性を高めながらも、全国各地の育成会の皆様と一緒に、事業の立場から、地域で暮らす障害児者の生活の向上と安心して共に生きる地域づくりに貢献していきたいと思っております。

つきましては、都道府県育成会及び政令市育成会におかれましては、これまで通りの関係と実務をお願いする所存です。あらためてご理解をいただきたくお願い申し上げます。

振り返りますと、1999年（平成11年）に「全日本手をつなぐ育成会小規模作業所/通所授産施設全国連絡協議会」が結成されました。当時は全国で1,500を超える作業所・施設が参加し、小規模作業所のあり方を追求してきました。第1回大会の東京大会には全国から2,000名を超える参加者が集い、障害福祉事業の中心であった小規模作業所のあり方が盛んに議論されました。当時から地域に馴染み、地域に根ざした共生社会の前線に立ってきたのは、この協議会に参加した事業所の先輩諸氏であったと確信しています。

名実共に新体制となった全国手をつなぐ事業所協議会ですが、これまでと変わらず地域で暮らす障害児・者の生活の向上と、安心して共に生きる地域づくりを目指していきます。会員事業所の皆さんにはその中核として活躍を期待しています。

よろしく願いいたします。共に前へ！



全国事業所協議会より

連合会への正式加盟にあたってブロック担当理事より

全国手をつなぐ育成会連合会に正式加盟をしたことから、各ブロック担当理事から一言ずつもらいました。



北海道
門内 勇治

平成30年、故・森本千尋氏より北海道ブロック運営委員を引き継ぐ際“全国育成会連合会は「運動体」、事業所協議会は「事業体」として位置づけ、全国育成会との関係性、組織の在り方の議論から離れ、それぞれに目的を持つ独立した組織体として、真に「両輪」となるべく、全国育成会連合会の活動を実践する新たな組織化を目指すべき”と想いを綴った文書を預りました。今回の正式加盟に至るまでの松崎理事長をはじめ関係者皆様のご尽力に感謝するとともに、森本氏が偲ばれます。



東北
石川 明博

このたび、全国手をつなぐ育成会連合会の57番目の支部となりました。長年「全育連」と「全国事業所協議会」が両輪の如くと号令を掛けながらも、明確な位置づけと具体的な連携が整理されておりませんでした。今年度から、支部としての明確な位置づけとなり、より具体的に連携ができればと思います。また、全国の皆さまが持っている事業所の運営ノウハウを生かし、ともに持続可能な団体として、全育連と実質的な連携が可能となるようにしていきたいと思っています。



東京
長尾 英治

全国手をつなぐ事業所協議会の正会員おめでとうございます。私自身、昨年東京から理事として参加させて頂いておりますが、諸先輩方の長年の想いが、このような形になったと感じております。これからも、事業所の想いや課題を皆さんで共有しながら、少しでも障害福祉が前進出来る様に、事業所同士、手をつなぎ協議会を盛り立てていきましょう。引き続き、ご協力をお願い致します。



東海・北陸
遠藤 洋輔

東海・北陸ブロックの遠藤です。本会の全育連への加盟が正式に承認されました。私自身は会に参画してから日も浅く、調整に奔走された皆さまのご苦労は如何ばかりであったかうかがい知ることも出来ませんが、長らくの懸案事項が決着を見た事に安堵しております。今後プラスマイナス両面あるとは思いますが、会員の皆様にプラス面を1つでも多く実感していただけるよう、理事として微力ながら尽力していく所存です。



近畿
飯塚 聡

1999年（平成11年）の設立時に開催された東京大会では、初めて他県の状況を見聞きし、各地の作業所の状況が違って驚いたことを鮮明に覚えています。あれから23年が経過し、育成会と事業所協議会ともに取り巻く環境も大きく変化しました。今回、事業所協議会が全国連合会の正会員になったことから、今後は全国連合会とともに、変化していく制度の中で時代に遅れをとることが無いよう、次の一手を考えていきたいと思えます。



中国・四国
岩月 成臣

中国・四国ブロックの岩月です。この度、全育連への正会員での加盟が決定し身の引き締まる思いです。これからの全国手をつなぐ事業所協議会の発展の一助になれば幸いです。

政策委員長としましても、皆様の事業所からのご意見をできる限り吸い上げて政策の提言を行っていきたくと考えておりますので、今年度（7月中に配信予定）行われます事業所への調査票にご協力を頂けたらと思えます。お多用のこととは思いますがどうぞ宜しくお願いします。



九州・沖縄
菅 敏洋

全国手をつなぐ事業所協議会が全国手をつなぐ育成会連合会の正会員になったことについては、これまで、直接的関わりがなく経緯をお聴きしても私は正直なところ、今もよく理解できていません。それでも、「育成会と事業所は両輪である」という思いは入職した時から今も変化はなく、強く思い続けています。事業所協議会が育成会の正会員となることにより、より一層、連携が密になり、どこに住んでいても安心して生活できる地域を創る働きかけができればと思えます。



九州・沖縄
田中 寛

2009年（平成21年）より九州・沖縄地区担当として全国事業所協議会委員に任命され、気付けば既に14年目を迎えています。旧全日本育成会の内部組織として存在し、車の両輪として例えられていた事業所協議会が、一正会員として外部組織的に独立した今回の改革は、正直なところ残念な思いがあります。しかし、これを好機として捉え、障がいのある人の日常の社会生活の拠点として存在しうる全国の事業所の安定した運営と発展を願い、障がい者の保護者の立場として、家族の思いを組み、微力ながら運営に関わっていく所存であります。



全国事業所協議会より

2021年度（令和3年度）全国手をつなぐ事業所協議会 事業報告と決算について

2021年度（令和3年度）が終了したことから、6月に全国手をつなぐ事業所協議会の総会を書面により開催し、事業報告と決算のご承認を得ることができました。

2021年度（令和3年度） 全国手をつなぐ事業所協議会 事業報告

I. 令和3年度 基本方針

1. 組織の強化

新組織を確固たるものにするために、都道府県及び政令市、およびブロックの地方事業所協議会の成立に向けて支援を行い、既に活動している地方事業所協議会については、その運営を支援します。

また、地方事業所協議会より選出の運営委員、及び役員による委員会機能を充実強化し、共生社会に役立つ協議会を目指します。

→ 2021年度（令和3年度）より「全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会」から「全国手をつなぐ事業所協議会」へ名称変更及び規約改正を実施。

規約改正及び名称変更に伴い、都道府県・指定都市より33名の運営委員の選出、9名の理事、2名の監事の選任、研修委員会・政策委員会・広報委員会を立ちあげた。

2. 「新しい生活様式」に合う障害福祉サービス事業の在り方の検討

続く新型コロナウイルス禍における適切な事業運営を探るとともに、ポストコロナの時代に向けて「新しい障害福祉サービス事業の在り方」を検討します。

→ 2020年度（令和2年度）に引き続き、2021年度（令和3年度）も新型コロナウイルス禍での事業運営となったことから全国研修大会のテーマを「ウィズコロナの事業所の未来を考える～求められる事業継続性の強化を果たすためには？～」とし事業継続計画（BCP）の策定方法や策定後の運用について研修を実施。

II. 重点目標

1. 組織強化と拡大

ア) 理事会を定期的で開催（参集型で年2回程度、オンラインで年8回程度）、また必要に応じて運営委員会を数回開催し組織の充実を図ります。

→ 理事会開催回数14回。オンライン会議システム（ZOOM）を利用。

イ) 理事の役割分担を明確にして組織の機能の強化を図ります。

理事長（松崎 伸一）

◆総括業務

◆（一社）全国手をつなぐ育成会連合会への対応（連合会理事）

副理事長（田中 寛）

◆統括業務の補佐

研修委員会

(遠藤 洋輔〔長〕、菅 敏洋〔副〕、石川 明博、飯塚 聡、岩月 成臣)

◆全国研修大会の企画・運営 ◆ブロック研修の支援

◆研修課題の調査・研究等

広報委員会

(飯塚 聡〔長〕、門内 勇治〔副〕、石川 明博、長尾 英治)

◆協議会ニュースの企画・編集・発行 ◆育成会速報への対応等

政策委員会

(岩月 成臣〔長〕、長尾 英治〔副〕、田中 寛、門内 勇治、遠藤 洋輔、菅 敏洋)

◆会員のニーズ調査・政策・制度提言の研修、調査

◆新制度への対応策の調査、研究 ◆広報、研究等提起

◆小委員会・専門部会の運営等

事務局長 (石川 明博)

◆総務、予算・決算、渉外等事業所協議会の組織強化と拡大

ウ) 各委員会では理事以外に運営委員の参加を求め、委員会の強化を図ります。

→ 2021年度(令和3年度)は年2回の運営委員情報交換会をブロック毎にZOOMにて実施。

エ) 地方協議会の実態の把握に努め、組織の強化と拡大の取り組みを進める。

→ 各地方育成会及び運営委員と協力して各地方の組織状況について確認。

オ) 各会議等のオンライン化を推進し、多くの会員の参加を促します。

→ 新型コロナウイルス禍の影響もあり理事会等の会議はZOOMにて実施。また、ミニセミナーや全国研修大会についてもLIVE配信で実施。

2. 新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

ア) 新型コロナウイルス感染拡大の下での障害福祉サービス事業のあり方について、調査研究を進めます。また、全国手をつなぐ育成会連合会と連携し、コロナ禍における共生社会の推進など障害者支援を行います。

イ) 新型コロナ感染拡大によって事業運営が困難にならないよう、国に要望し、支援策を求めます。

→ 全国研修大会のテーマを「ウィズコロナの事業所の未来を考える～求められる事業継続性の強化を果たすためには?～」とし事業継続計画(BCP)の策定、運用についての研修会を実施。また、事業所協議会ニュースにてコロナ対応や国からの補助金等の情報提供をする。

3. 政策・制度提言等

ア) 知的障害のある人たちをはじめ地域で生活する障害者の就労支援・地域生活支援のため、制度政策提言に取り組みます。

イ) 報酬改定等を含めた制度の評価・検証を行い、国に要望していきます。

ウ) 全国の事業所の実態・課題を調査し、障害福祉サービス事業の在り方を検討します。

→ 2021年度(令和3年度)報酬改定に関する事業所アンケートについて会員事業所を対象に実施し、集計及び報告書について事業所協議会ニュース及び全国研修大会にて公表し、(一社)全国手をつなぐ育成会連合会の要望書へ反映させる為の準備をする。

4. 会員相互の支援・交流

- ア) 事業所協議会ニュース（ほっとすぺ～す）を毎月発行し、情報提供と会員相互の交流を推進します。
- 事業所協議会ニュースを126号～137号まで計12回発行する。
- イ) 事業所協議会全国研修大会を開催します。今年度は岩手県にて開催予定。
- 2021年度（令和3年度）全国研修大会はいわて事業所協議会（事務局社会福祉法人手をつなぐ）が主管で実施。新型コロナウイルス感染症の影響により、参集・オンラインのハイブリット開催。開催内容は下記の通り。
- ①開催日：令和4年2月12日（参集・ZOOMウェビナー）
：令和4年3月1日～3月31日（YouTube配信）
- ②大会テーマ：ウィズコロナの事業所の未来を考える
～事業継続性の強化を果たすためには？～
- ③開催方法：参集（ホテルメトロポリタン盛岡本館4階「岩手の間」）
：ZOOM、YouTube配信
- ④参加者数：参集110名、オンライン104名 計214名
- ウ) 全国研修大会で捉えきれない課題をテーマにして、地域セミナーを1～2回開催します。
- 東京ブロックにて「都会のグループホームのこれから」をテーマにオンラインにて開催。
- エ) 地方事業所協議会やブロック単位での研修会（支援力の強化やリーダー育成を目的にしたセミナー・ワークショップ等）の開催に対し支援します。
- 補助を行ったブロック研修大会は下記の通り。下記以外のブロックについては新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・北海道ブロック：「事業所の現状・障がい者支援について」
 - ・東北ブロック：「ウィズコロナの事業所の未来を考える」※全国研修大会併催
 - ・東海北陸ブロック：「作業所の未来を地方から切り開く静岡フォーラム 2022」
5. 共に暮らす地域づくりの推進
- ア) 協議会加盟の事業所が、利用者の最も身近な地域での支援を積み上げてきた実績と、地域に根付いた事業所としての「良さ」を再確認し、地域貢献や地域づくりの視点から、活動の充実・発展させる取り組みを支援します。
- イ) 地域の他の社会資源等と連携し、現在の事業に加え利用者の高齢化や重度化に対応した「住まい」の確保等、共に暮らす安心、安全な地域生活支援の役割を担う取り組みを進めます。
- ウ) 地域生活支援拠点の整備に取り組む事業所を支援します。
- 協議会ニュースの中に「On the frontline」のコーナーを設け、全国の会員事業所にて活躍している方との対談を実施。運営委員との情報交換会にて各都道府県での福祉サービスの現状を共有した。
6. その他
- ア) 事業所協議会の組織のあり方、連合会との関係や会費等について検討を進めます。
- 令和3年4月に全国手をつなぐ事業所協議会は新規約、名称変更を実施。（一社）全国手をつなぐ育成会連合会との関係については令和3年度は令和4年度の連合会総会での連合会の正会員化へ向けて調整を行う。

（全国手をつなぐ事業所協議会事務局長 石川 明博）

2021年度（令和3年度）

全国手をつなぐ事業所協議会 決算

2021年度（令和3年度）の決算の概要としては、加入事業所は600事業所でした。

支出については、2021年度（令和3年度）より、各ブロックに運営委員を配置し、会議をオンラインで実施するにあたり、導入費用として「事務消耗品費支出」の増額を見込んでいましたが、既にある機材を流用したことから支出増加をすることがありませんでした。

最終的に約103万円の収支差額を計上できましたので、令和4年度（2022年度）に繰り越します。

（全国手をつなぐ事業所協議会事務局長 石川 明博）

令和3年度 全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会 決算

（自）令和3年(2021年)4月1日 （至）令和4年(2022年)3月31日

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異(A)-(B)	備考
収入	事業収入	3,384,000	3,374,029	9,971	
	事業所協議会会費収入	3,000,000	3,000,000	0	
	広告費収入	384,000	374,000	10,000	
	受取利息収入	0	29	△ 29	
	積立資産取崩収入	1,250,000	0	1,250,000	
	運転資金取崩収入	1,250,000	0	1,250,000	
収入計 (1)		4,634,000	3,374,029	1,259,971	
支出	事務費支出	4,031,000	2,343,662	1,687,338	
	旅費交通費支出	750,000	428,677	321,323	
	研修研究費支出	1,400,000	1,000,000	400,000	
	事務消耗品費支出	898,000	487,752	410,248	
	印刷製本費支出	60,000	60,000	0	
	通信運搬費支出	173,000	40,908	132,092	
	会議費支出	20,000	1,800	18,200	
	業務委託費支出	400,000	300,000	100,000	
	手数料支出	30,000	24,525	5,475	
	諸会費支出	300,000	0	300,000	
	雑支出	0	0	0	
支出計 (2)		4,031,000	2,343,662	1,687,338	
収支差額 (3)=(1)-(2)		603,000	1,030,367	△ 427,367	
予備費支出 (4)		603,000	0	603,000	
当期繰越額 (5)=(3)-(4)		0	1,030,367	△ 1,030,367	
前年度繰越額 (6)		-	1,844,097	△ 1,844,097	
次年度繰越額 (7)=(5)+(6)		-	2,874,464	△ 2,874,464	



全国事業所協議会より

2022年度（令和4年度）全国手をつなぐ事業所協議会 全国研修大会・新潟県大会について

前号でも一部お知らせをしたとおり、2022年度（令和4年度）の全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会・新潟県大会を11月5日（土）に予定をしています。

今大会では総合支援法の見直しの中で就労支援事業の多様化、向かう方向性、そして農福連携の可能性を検討します。

なお新型コロナウイルス感染拡大はいまだ収束とは言えませんが、今大会では状況が許す限り、徹底的な感染対策を行った上で参集型を基本として開催する方向ですが、後日に録画配信もする予定で準備を進めています。

1. 研修会名：「令和4年度 全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会・新潟大会」
2. 開催日時：令和4年11月5日（土曜日）10：00～16：30
3. 会場：ホテルセンチュリーイカヤ（新潟県上越市中央区1-2-7）
4. 大会テーマ：「総合支援法の見直しと就労支援事業の多様化、農福連携の可能性」
5. 日程及び内容

時間	内容
9：30	受付開始
10：00	開会式
10：20	行政説明
11：30	中央情勢報告・全国事業所協議会報告
12：00	昼食休憩
13：00	基調講演 「（仮題）食の安全・農福連携の推進」 講師：山田 正彦 氏（元農林水産大臣・弁護士）
14：10	休憩
14：20	シンポジウム 「総合支援法の見直しと就労支援事業の多様化」
16：15	大会総括
16：25	次期開催地挨拶
16：30	閉会

6. その他

大会要綱等については、8月中頃に各事業所の登録 mail アドレス宛に、配信ができるように準備を進めています。

『手をつなぐ』新規購読募集中

●役立つ情報が満載です

『手をつなぐ』は、知的障害のある人の暮らしに役立つ情報が満載です。知的障害のある人の親・家族をはじめ、福祉・教育・行政関係者などにもご愛読いただき、65年近い歴史を刻んできました。

●最先端の情報をお届けします

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会の賛助会員としてお申し込みいただくと、特典として『手をつなぐ』を毎月お届けします。知的障害のある人の生活に関する問題や福祉施策の最新情報から、全国各地の先進的な取り組み、著名人によるエッセイなど、情報が詰まった『手をつなぐ』をぜひご活用ください。



賛助会費（年間）

4,100円

※賛助会費（年間）は前納制です。月割の支払などはできません。

※年度途中のお申し込みの場合、『手をつなぐ』は該当年度4月号まで遡ってお届けします。単号のみお求めの場合は、（一社）全国手をつなぐ育成会連合会までお問い合わせください。

※年度途中で終了する場合は、原則として賛助会費の返還には応じかねます。

※正会員（都道府県育成会等）を通してお申し込みいただいた場合は、賛助会費（年間）が3,900円となります。その場合、『手をつなぐ』はお申し込みいただいた都道府県育成会等よりお届けします。

《お問い合わせ先》

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会

電話 03-5358-9274

全国の事業所から

多機能型施設 ひだまりの家

〔一般社団法人 いわてひだまり農園〕

（岩手県 滝沢市）

「個人の尊厳を尊重し、地域の中で役割を持ち、日常生活が続けられるよう支援に努めます。食・農業・産業を通じて、豊かな地域社会の実現に努めます。」

上記の理念のもと、2014年（平成26年）7月に一般社団法人 いわてひだまり農園が設立されました。

現在、多機能型施設 ひだまりの家では、就労継続支援B型・自立訓練・宿泊型自立訓練・生活介護・相談支援の5つのサービスを提供しています。

就労継続支援B型は、理念で掲げている通り、農業や食材加工を中心とした作業を行い、地域の農家さんや食に貢献しています。



【「チャグチャグ馬コ米」の田植え作業】

中でも地元で伝わる祭りの「チャグチャグ馬コ」に参加する馬の糞を肥料として使用し、種まきからして作っているお米は、「チャグチャグ馬コ米」という名前で親しまれており、たくさんの飲食店や支援学校の給食の食材として使用されています。

自立訓練・生活介護では、常駐している医師・看護師・作業療法士の生活プログラムの他、農業や全国展開している古着店の仕分け・パッキング・ネット出品作業を行い、自立・豊かな生活、社会貢献を目指し日々活動しております。

また、自立訓練・生活介護では、地域の文化や芸術への貢献も目指しており、2021年（令和3年）の小岩井農場イルミネーションでは、500個の牛乳パックでランタンを作成し、小岩井の夜に明かりを灯しました。この他に地域貢献としては、チャグチャグ馬コの装束や革細工の作成を行い、チャグチャグ馬コを通して地域の文化に貢献しています。



【小岩井農場イルミネーションでは作品を出しました】



【チャグチャグ馬コの伝統を引き継ぐ地域貢献をしています】

今後の展望としては、田んぼの拡大・近隣の農家さんとの連携を強化し、地域の農産業・食への貢献、利用者さんの就労の場を拡大していきたいと考えます。また、チャグチャグ馬コ等を通じた文化活動を継続し、地域社会への貢献、障がいを持つ方の活躍の場を拡大していきたいと考えます。

（一般社団法人 いわてひだまり農園 理事 小松 貴志）

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約149,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。
TEL: 03-5577-6351 <http://www.zensapo.jp>
加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会傘下の
各都道府県団体の事務局となります。

2021年12月現在の内容です。(D-005640 2023-03)

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…



他人の物を壊してしまった…



このようなお困り事に
心当たりがある方に…



虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無条件型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

弁護士が
全面的に
サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護賠償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

【2020年1月作成 19-TC06633】

編集後記

本当に今年の梅雨は何処に行ってしまったのでしょうか。楽しむ間もなく梅雨が消えてしまいました。折角咲き誇ったはずの紫陽花も炎天下は似合いません。しとしと降る雨に濡れてこそ美しさを増す紫陽花、しかもそこに蝸牛！なんて言っているのは人間が古くなった証拠でしょうか。



一方コロナ・パンデミックも3年目、しかもロシアによるウクライナ侵略が始まり世界の経済も混乱。日本でも円安に物価上昇。3年前とは全く違った景色となっています。そんな3年の間に事業所協議会は大きな変化を起こしました。この3年で長年の課題でもあった組織改革を実行。自主的組織「全国手をつなぐ事業所協議会」として全国育成会に正会員加盟となりました。全育連の組織内組織からの大きな転換です。事業所協議会は24年の歴史がありますが、うち私が運営委員として加わったのが16年。協議会のあり方はずっと議論が続けられ変化もありましたが、これだけの大きな改革は今回が初めてです。それだけでも祝福に値すると思っています。この大変革に関わることができたことは大きな喜びです。これまで関わられた皆さんには心より感謝申し上げる次第です。

（関東甲信越ブロック 松崎 伸一）

全国手をつなぐ事業所協議会ニュース
『ほっとすぺ～す』2022年7月号
(通巻141号)
2022年7月15日発行

【編集・発行】
全国手をつなぐ事業所協議会
岩手県盛岡市下飯岡 15 地割 77-3
TEL 019 (613) 7200 定価 100 円

コピー用紙 定期配送サービス

もっと便利に！
もっとたくさん！

ウチダシステムズの通販をご利用頂ければ、
事務用品・衛生用品などが
全国手をつなぐ育成会連合会
事業所協議会様向けの特別価格で
お安くご提供できます！

ポイント①

760万以上の商品を
「事業所協議会の皆
様だけの特別価格」
でご提供します！

ポイント②

最短翌日配送のス
ピードで欲しいものが
直ぐに届く！
※一部、対象外の地域有

ポイント③

請求書を科目や事
業毎に分けることが
出来るので経理業務
が楽に！



ご相談は下記までお問合せ下さい。
株式会社ウチダシステムズ 福祉施設営業部
TEL : 03-3537-0888